

新規採用者からのメッセージ(国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験))

試験区分:行政四国(平成30年度採用)

採用の決め手となったこと

私が、この四国管区警察局を選んだきっかけは人を支える仕事がしたいと考えていたからです。一般に警察と聞くと現場に出て犯人を逮捕したり、事故を取り締まったりといったいわゆる警察官をイメージされると思います。ですが、私達の仕事はそういったものではなく、職員の給与厚生や物品管理等の警察活動の基盤を支える役割を担う仕事であり、私自身率先して前に出るよりも現場に出ている人たちを支える裏方として人の役に立てる仕事がしたいと思ったので、この官庁を選びました。

官庁訪問、採用面接について

私は面接の際には、いつも大学のキャリアセンターに行き、エントリーシートや面接練習等を見てもらっていました。また、面接の内容に関してですが、深いところまで聞かれることももちろんありますが、素の自分を出せば答えられないものではないと思うので、身構えずいつも通りの自分が出せるように頑張ってください。

受験希望者等へのメッセージ

私たちの仕事は表に出る機会といったものは少ないかも知れませんが、やりがいのある仕事であると思います。ですので、私達と共に警察活動を支えていきたいという方は、ぜひ四国管区警察局を志望してみてください。来年度皆さんと一緒に働けることを心よりお待ちしております。

試験区分:行政四国(平成30年度採用)

採用の決め手となったこと

警察組織に関係する仕事ができることでした。私は幼いころから警察官が登場する書籍を読むのが好きで、警察に関係する職種に就きたいと思うようになりました。そして、就職活動の際、四国管区警察局という警察関係の事務を行う官庁があると知り、訪問を決意しました。

官庁訪問、採用面接について

私が訪問した官庁は四国管区警察局の1か所のみでした。官庁訪問をするにあたって、訪問官庁の業務内容や施策、官庁に対する質問をまとめた訪問ノートを作成し持参しました。

受験希望者等へのメッセージ

公務員試験を受験するにあたって、長い時間をかけて勉強や面接練習を重ねてきた方やこれから受験を考えている方など様々な方がいらっしゃると思います。公務員試験は長丁場で大変ですが、合格した末には大変意義のある仕事ができます。ぜひ一般職試験の受験を考えてみてください。応援しています。

試験区分:行政四国(平成30年度採用)

採用の決め手となったこと

私が志望の決め手としたのは、研修の充実度です。職場内外でおよそ半年間の研修が設けられており、職員として必要な心構えから担当業務に関する知識まで、身に付くには十分な期間があります。転職し、これまでと業務内容が変わることに不安を覚えていた私でしたが、これだけの研修があるなら大丈夫だと感じました。

官庁訪問、採用面接について

面接試験が始まるまでの期間、志望官庁の業務説明会と官庁訪問には積極的に参加しました。採用担当者に顔を覚えていただくことはもちろん、業務を把握するためにも、できるだけ多く参加することをおすすめします。似たような業務を扱う他機関との違いは何か、これを理解しておくことで志望理由に説得力が出てきます。

受験希望者等へのメッセージ

就職活動を行うにあたり、履歴書の作成に誰もが苦戦すると思います。そのような場合は、友人や大学のキャリアセンターを積極的に頼ってください。自分だけでは気付かない、新たな一面を見つけるヒントになります。最後になりますが、最終合格まであと少しです。体調管理に気をつけながら、悔いの無いように全力を尽くしましょう。

試験区分:行政四国(平成30年度採用)

採用の決め手となったこと

私は人の役に立つ仕事をしたいと考えており、国民に一番身近な公務員である警察の仕事ならより多くの人の役に立てると思いました。警察庁事務官として警察官のサポートをして間接的に国民の役に立ちたいと考え志望しました。

官庁訪問、採用面接について

対策として志望動機や自己分析はもちろん、あらかじめ聞かれそうな質問内容を面接対策本で予想しどのように答えるかを考えていました。実際に面接を受けた時には緊張してうまく答えられたかどうかはわかりませんが、偽りない自分の気持ちを精一杯伝えたことが内定という結果に繋がったと思っています。

受験希望者等へのメッセージ

やるべきことが多く大変だと思いますが、諦めずやり遂げた先に必ず素晴らしい未来が待っています。そのためにまずは自分がどんな仕事をしたいのか、これからどうなりたいのか大まかでいいので考えておくのもいいかもしれません。後悔しないように頑張ってください。

試験区分:電気・電子・情報(平成30年度採用)

採用の決め手となったこと

私が四国管区警察局を志望した決め手となったのは、災害発生時での活動だけではなく、日常生活で起こる犯罪の予防など、幅広い分野で国民の安全を守り、治安の維持に貢献できることに魅力を感じたからです。

官庁訪問、採用面接について

官庁訪問にあたり、事前に準備をしていたことは、ホームページや資料から情報を得ることです。業務説明会に参加し、実際に働いている現場を見ることによって生じる様々な疑問点について質問し、職場の全体像の理解に努めました。

受験希望者等へのメッセージ

もし、学生や受験希望の方がいらっしゃいましたら、一度業務説明会にお越しください。職員の話や聞かなかで、ホームページや資料だけでは絶対にわからない職場の雰囲気や研修などの情報を得ることができる貴重な機会です。お時間がある方は足を運んでいただければと思います。

試験区分:機械(平成30年度採用)

採用の決め手となったこと

私が四国管区警察局を志望した決め手となったのは、地震などの大規模災害が発生した時に警察職員として通信という観点から警察官をサポートすることで、国民を守ることができると考えたためです。近年、四国付近では数十年以内に地震が発生するといわれています。私は、四国をはじめとする広範囲の人々を助けることができると考えたため、警察職員になることを決意しました。

官庁訪問、採用面接について

受験希望の皆さんにアドバイスしたいことは、採用面接について全く緊張する必要はないということです。私は事前に業務説明会に参加し、職場の雰囲気などを知ることにより、採用面接の際、緊張せず自分の言いたいことを伝えることができました。皆さんも、業務説明会等で情報収集し、採用面接に臨むといいと思います。

受験希望者等へのメッセージ

私は現在、採用から2ヶ月しか経過しておらず、まだまだ研修途中です。しかし、国民の方々の生活の安全、治安及び秩序の維持に貢献できることは本当だとわかりました。ぜひ皆さんも一緒に仕事をしてみませんか。

試験区分:物理(平成30年度採用)

採用の決め手となったこと

私が四国管区警察局を志望した決め手となったのは、人々の役に立てる仕事に就きたいと思ったからです。警察職員として、警察活動の支援をすることによって、国民の生活の安全、治安の維持に貢献できることに魅力を感じました。

官庁訪問、採用面接について

官庁訪問で事前に準備したことは、ホームページ等を見ての情報収集です。それによって自分の中でイメージを描いていたことで、実際に官庁訪問したときに、そのイメージを用いて面接等に臨むことができました。

受験希望者等へのメッセージ

学生や受験希望者の皆様、資料だけではわからないことを、官庁訪問で知ることができると思います。気になるところがあれば、官庁訪問をしてみて、疑問を解決していくのが、自分にあった官庁を知ることにつながると思います。そして、今後、皆様と一緒に働くことができれば幸いです。

